

2 - 2 重点事業評価

事業名

電子図書館サービスの充実

(1) 事業の概要

● 対象

図書館に直接来館する利用者だけではなく、距離的理由や身体的理由などにより、来館が困難な利用者。

● 意図・目的

当館の独自データベースの拡充によって、インターネット等による電子媒体を活用した情報提供サービス（電子図書館サービス）の充実を図ることにより、県立図書館のサービスを「だれでも」「いつでも」「どこからでも」利用できる環境の整備を進めていく。

● 具体的取組の概要

- ①「越後佐渡デジタルライブラリー」による新潟県関係歴史資料のデジタル化とホームページ上での公開を、MLA連携等によって推進するとともに、レファレンスツールである「郷土人物／雑誌記事索引データベース」などの独自データベース登録件数を増加させ、情報利用の利便性と効率性の向上を図る。
- ②当館ホームページを経由して利用する音楽ライブラリーの、利用の促進を図る。
- ③県内MALUI連携によって、当館の所蔵する「郷土新聞画像データベース」の周知と充実に取り組む。

(2) 指標①（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
越後佐渡デジタルライブラリーの撮影点数	年間 130点	152点 (117%)

（平成28年度実績：116点）

指標②（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
越後佐渡デジタルライブラリーのアクセス件数	年間 10,000件	8,998件 (90%)

（平成28年度実績：9,271件）

(3) 事業評価（自己評価）

自己評価	C	資料撮影点数については目標を十分に達成したが、アクセス件数については目標値に及ばずC評価となった。
------	---	---

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。
B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	新潟県関係歴史資料のデジタル化とインターネットによる公開は、遠隔地在住の県民や、研究者のニーズにこたえるものである。県立図書館の使命の一つである新潟県関係資料の保存と市町村支援の観点からも、重要な事業である。

有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	目標を大きく上回る点数の資料を撮影し、データベースの拡充を図った。アクセス件数については、ポスターやチラシを県内市町村に配布・掲示するなどして広報に努めたが、目標に達しなかった。
効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	デジタル化の際には、効率的な作業方法を模索するとともに、参加市町村の要望にできるだけ応えるよう心がけた。また、より見やすい画像となるよう構図や分割方法を意識して撮影を行った。

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
越後佐渡デジタルライブラリーは、平成24年のリニューアルから6年目となり、画像の蓄積や市町村との連携も進んできている。引き続き、登録資料点数の増加に努めるとともに、関連貴重資料の展示を行うなど、更なる活用に取り組んでいきたい。

(5) 図書館協議会意見

<p>指標②のアクセス件数について自己評価を「C」としているが、今年度の達成目標値を下回ってはいるものの昨年度実績とほぼ同程度であり、協議会としては「目標がある程度達成された」と捉えている。広域である県の実情を考慮すると、情報のデジタル化とインターネットによる情報提供サービスの充実は重要であり、独自データベースの充実とともに、広報活動や関連資料の展示などもアクセスの増加に反映されていくものと考えられる。引き続き図書館の取り組みを期待している。</p> <p>音楽ライブラリー（ナクソス音楽配信サービス）は非常に有意義なサービスであり、利用促進のための一層の取り組みが望まれる。例えば、より広く周知するために、県内の各種の図書館等にポスターを掲示することや、その利用には県立図書館の「利用カード」が必要であることから、市町村立図書館で県立図書館の登録申し込みを受け付ける（さらに、県立図書館が発行した「利用カード」を受け取れる）体制の整備なども考えられる。アクセス件数などの指標の設定により実績を明らかにすることも必要である。</p> <p>ホームページは見やすく利用しやすいが、県民がその存在や利便性を知らない可能性もある。TwitterやFacebookなどのソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）による情報発信も必要ではないかと考える。近年ではSNSにより情報を発信している博物館や美術館も少なくない。</p>
--